



紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第4号
令和4年12月23日
校長 荒井 友香

自治の段階

12月も末を迎えました。1・2年生は期末考査の結果に一喜一憂した時期を抜け、すでに冬休みやクリスマスの到来に目を向けている生徒も多くいるようです。3年生は表情も引き締まり、自分の決めた進路に向けて一直線に向かっているところですよ。

この時期は、今年度の本校の教育活動を振り返り、次年度に向けての取組を考え始める季節でもあります。

今年度、生徒総会での質問を契機として、生活のきまり検討委員会が発足し、生徒と先生が協働して校則の見直しに取り組みました。先日、その話し合いの結果をもって、各学年の代表生徒が校長室にきました。カチューシャやカーディガンの取り扱いの変更についての説明がありましたが、その中で、印象的な発言がありました。

「カジュアルを学ぶ」という言葉です。

今まで、式服の時に「フォーマルを学ぶ」という表現を使っていました。今回は「カジュアルを学ぶ」。

カジュアルといっても、TPOに応じた服装が必要だ、というのです。

学校に着てくる服装です。この時期であれば個々の防寒対策は欠かせません。常に換気を行っている廊下の気温は10℃を下回ります。また、掃除や様々な活動で汚れることもあります。他の生徒と一緒に活動しますので、迷惑になりそうな服装も避けた方がよさそうです。

ここで問題になるのが、「迷惑になりそうな服装」とは何か、です。

例えば、裾が長く、引きずるようなデザインは、日常生活の中では活動的でなく、他の人も足元に注意を払う必要があるから迷惑のように思います。こうした分かりやすい例ならばよいのですが、判断に困ることもありそうです。

本校の校則は、「先生が叱るからダメ」という段

階ではありません。校内の秩序を考えて正しい行動なのかを各生徒が判断して行動する段階にあります。時には今回のように、校則について生徒と教員と一緒に検討し、決まり自体を再構成することもあります。

いつか、生徒一人一人が社会の一員としての自分を自覚して、自分の中に善悪や正邪の基準をもって行動できるようになったら、校則そのものが必要なくなるかもしれません。

「論語」では「七十にして己の欲する所に従えども矩（のり）を喩（こ）えず」とあります。70歳になってからは、心の欲するままに行動しても道徳の基準をはずれるようなことがない、ということですよ。

中学生の今から、少しずつ自分の中の基準をつくり、見直し、また組み立ててを繰り返していくと、70歳を待たずとも、従心の境地に辿りつけことでしょう。

今年が生徒一人一人の未来に向けた前進の一年であったことを信じています。

地域、保護者、そして多くの生徒の皆さん、今年もありがとうございました。

冬季休業期間中の緊急連絡について

12月29日から1月4日は学校休務日のため職員が不在です。緊急に学校に連絡しなければならない場合や、生徒が新型コロナウイルスに「陽性」と判定されたりした場合は学校連絡用携帯電話にご連絡ください。電話をすると留守番電話になります。学年・組・名前・用件をお話してください。学校連絡用携帯電話から、必要に応じて折り返し連絡があります。

【学校連絡用携帯電話】

080-7797-9957

事件・事故は、まず警察に連絡しましょう。

回答はこちらから！

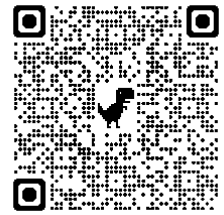
石神井西中学校の学区にお住いの皆様へ

石神井西中学校の学校評価に参加してみませんか？
有効回答期間は12月23日から1月5日までです。
いただいたお声は、次年度の教育活動に生かしたり、
生徒に紹介したりします。

日常生活の中で見かける、本校の生徒の様子をどの
ようにお感じになっているか、地域の皆さんの声をお聞かせください。質問は4つです。

- ・生徒たちは、よく学習にとりくんでいるか。
- ・生徒たちは、運動する機会などが十分にあるか。
- ・生徒たちは、「自治」の伝統を継承しているか。
- ・生徒たちは、互いに助け合ったり、地域のことを考えるなどの精神が育っているか。

この他、生徒たちへのメッセージをご入力いただけます。



保護者の皆様からのお声

学校評価へのご協力をありがとうございました。
現在、生徒からの学校評価とともに、集計を行って
おります。

お忙しいとは思いますが、ホームページを充
実させてもらいたい。部活の内容や行事の写
真などコロナ禍や仕事などで学校に行けない
分ホームページで知りたい。

多くを語ることはありませんが、充実した学
校生活を送れているなどは感じています。い
つもありがとうございます。

コロナで閉鎖的にはなりましたが、子供たち
が地域の方々とも交流がとれる機会があれば
よいな。と期待しております（お祭り等）。
また、廊下ですれ違う際、3年生は挨拶をし
てくださいます。下の学年にも引き継がれる
と嬉しいです。

心の相談員に相談したくとも、他生徒の目も
あり相談申込みがしづらい点があるよう
です。

掲載した声は、ほんの一部です。教職員の気付き
のきっかけになります。ありがとうございます。

こちらこそ、ありがとうございます。

今月も、地域の方からうれしいご連絡をい
ただきました。

「落とし物を届けてくれた生徒がいた。」

「車いすで困っていたら、手伝ってくれた。」

学校外での生徒のこうした行動は、学校に
届きにくいものです。ポロ市では、たくさんの
卒業生に声をかけてもらいました。

「石西中、ありがとう」とご連絡をくださる
皆様、こちらこそ、ありがとうございます。

また、耳の痛いことも遠慮なくお伝えくださ
い。これからも一緒に生徒を見守っていただ
ければと思います。



保護した迷い犬の飼い主さんから、
お花が届きました。

